



上野の国立西洋美術館が昨年「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献」の一つとして世界遺産に登録されました。ルヴァン美術館ではこの機会に同時代に生きたル・コルビュジエ（1887～1965）と西村伊作（1884～1963）の二人を紹介致します。生涯にわたり建築や絵画などの活動に打ち込んだ二人の生き方には、西欧と東洋を超えた「自然と人間への愛情」が感じられます。また作品とともに当時の社会へ発信したメッセージの多くにも共通した想いが見えてきます。ともに建築の専門教育を受けることなく、時代の精神を先取りした建築作品を世に送り出しました。画家としてもコルビュジエは晩年まで毎朝キャンパスに向かっていた。彼は「自分の建築は絵画という運河を通ってきた」と自身における絵画の重要性を述べています。一方伊作は「芸術を生活として」自由奔放に建築、絵画、陶芸の制作に没頭しました。今回の展示は、伊作は彼が最も情熱を注いだ大正初期の建築、絵画を中心にした作品、コルビュジエは世界遺産の7か国、17の建築作品と、彼の弟子の坂倉準三に贈られた絵画及び、準三の妻ユリ（西村伊作次女）によるコルビュジエ詩画集「直角の詩」のタピストリーの作品を展示します。同時にル・コルビュジエと深くかわり、日本との懸け橋となった坂倉準三の建築作品も紹介致します。この企画展を通して、同時代に生きた二人の芸術家西村伊作とル・コルビュジエ、その志を受け継いだ建築家坂倉準三の情熱を感じて頂ければ幸いです。

ルヴァン美術館

世界遺産に登録 ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献



サヴォア邸 (フランス) © 西森秀一



レマン湖畔の母の家 (スイス) © 西森秀一



クルチェット邸 (アルゼンチン) © Olivier Martin-Gambier



チャンディガール (インド) © 山名善之研究室



国立西洋美術館 (日本) © 国立西洋美術館

ル・コルビュジエ Le Corbusier (1887～1965)

本名はシャルル・エドゥアール・ジャンヌレ。スイスに生まれ、後にフランス国籍を取得。パリを拠点に活躍。当時の新素材だった鉄鋼やコンクリート、ガラスなどを使い、機能的な建築を設計した。画家としての活動も本格化させ、多くの絵画作品を残す。「住宅は住むための機械である」と主張し「近代建築の5原則」にまとめた。CIAM (近代建築国際会議) の旗振り役となり、デザイナーと組んで家具の制作にも情熱を傾けた。国立西洋美術館の設計に際し、1955年に初来日。「無限発展美術館」の構想を実現させた。2016年、国立西洋美術館など7か国、17の建築作品が世界文化遺産に登録された。代表作として、ラ・ロッシュ＝ジャンヌレ邸、サヴォア邸、ロンシャンの教会、ラ・トゥレット修道院、カップ・マルタンの休憩小屋他。

西村伊作 Isaku Nishimura (1884～1963)

和歌山県新宮市生まれ。幼くして熱心なクリスチャンであった両親を震災で失い、山林主の母方の西村家の養子となり、その遺産を引き継ぐ。青年期から独学で絵を描き、陶器を作り、欧米のモダンリビングを取り入れた自邸を設計し住む。またアメリカ留学を終えて帰国した医師である叔父、大石誠之助と本格的に生活の改善、欧米化を推進する。多くの芸術家達と交わり、「生活を芸術として」を実践すると同時に、多くの著作により大正期の人々に新しい生活を啓蒙し続けた。家庭生活を大切に、教育にも熱心に取り組み、1921年、私財を投じて東京駿河台に「文化学院」を創立。戦前、公権力の弾圧を受けながらも、自らの理想を貫き通したその自由な生き方は、大正期を代表するモダニストとして、現在も多くの人々に感銘を与えている。

坂倉準三 Junzo Sakakura (1901-1969)

岐阜県羽島市の造り酒屋に生まれ、帝大美術史科卒業直後の1929年、20世紀の建築の巨匠ル・コルビュジエに師事すべく渡仏。1931年に念願の入門を果たした。当時のル・コルビュジエのアトリエには彼に憧れて、世界中から集まった若者達が無給で働いていた。その中には生涯の友となるシャルロット・ペリアン、ホセ・ルイ・セルトがいた。その後1936年迄、師の下で歴史的な設計の数々に携わった。パリ万博での鮮烈なデビューなど常に師の存在に励まされつつ、戦後の重苦しい日本の風土に爽やかな風を送り込んだ。代表作としては神奈川県立近代美術館、日仏学院、東急文化会館、新宿西口広場など、家具、住宅から都市に至る多くの作品を手掛けた。

「直角の詩」 Le Poeme de L'angle Droit



「直角の詩」は1947年から1953年にかけてル・コルビュジエが制作し、1955年に250部限定で刊行されたリトグラフによる唯一の詩画集です。AからGの7層に分けられ、さらにそれぞれの層は最大5つの層に分けられ、全体19章から成っています。これらはイコノスタシス（ロシア正教の聖像の壁）と彼が呼んだ、十字架のような配列で構成され、当時の彼の建築作品とも密接に関連しています。この図柄を坂倉ユリ（準三夫人）がタピストリーとして1996年頃から1枚ずつ織りためました。

<2017年度 ルヴァン美術館 Summer Concert・イベント>

- ① 7/22 (土) 日渡奈那 (Guitar) / 高橋明日香 (Recorder) デュオコンサート
- ② 8/06 (日) 近藤和花 ピアノコンサート (第10回)
- ③ 8/12 (土) ボサノバ/サパトス (木村純・三四郎) (第14回)
- ④ 8/20 (日) 純名里沙 (vocal) with 林正樹 (piano) 夏の日のコンサート
- ⑤ 8/26 (土) 「一噌幸弘 和の笛・洋の笛・音楽の旅」(第6回)
一噌幸弘 (能管・篠笛他) / 高木潤一 (ギター) / 勝海登 (シテ方) / 吉見征樹 (タブラ)

入場料：大人 3,000円、子供 1,500円 (中学生以下)

- ①②は 開場：17時、開演：17時半
- ③は 開場：18時、開演：18時半
- ④⑤は 開場：16時半、開演：17時※④のみ入場料4,000円
- ①②⑤は軽井沢ペット福祉協会のチャリティーコンサートとして、一部を協会に寄付致します。

- *春のアートフェスティバル 4月29日(土)～5月6日(土)
- *ローズフェスティバル 6月17日(土)～7月2日(日)
カフェ割引期間・バラの見どころ：6月中旬～7月初旬
- *フラワーアレンジメント体験教室 7月30日(日) 講師/捧 泉美
10:00～16:00 参加費：1,000円
- *夏休み体験木工教室 8月10日(木)～13日(日) 講師/永島秀之
10:00～16:00 参加費：1,000円
- *秋のアートフェスティバル 10月8日(日)
スケッチ大会・トルペイント体験教室：講師/中嶋祐子 (L' Atelier Fleur)
10:00～16:00 参加費：1,000円
- *トークショー 7月30日(日) 14:00～
藤木忠善 / 建築家・元坂倉準三建築研究所

*軽井沢 建築ツアー

- 10月8日(日)「坂倉準三建築ツアー軽井沢」
・飯箸邸 (現『ドメインドウ ミクニ』)- 追分
・A型住宅 - 旧軽井沢
解説：北村紀史 / 建築家・元坂倉建築研究所
・ルヴァン美術館の企画展見学 - 南軽井沢
解説：藤木忠善 / 建築家・元坂倉準三建築研究所

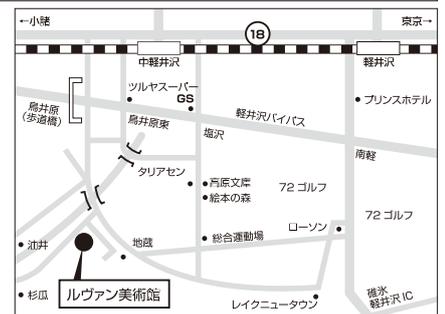
参加費：1,500円

申し込みは9月20日迄にルヴァン美術館
0267-46-1911 ※定員40名になり次第締め切ります。

- JR 長野新幹線「軽井沢駅」下車
または、乗継ぎしなの鉄道「中軽井沢駅」下車で3km
※夏期は両駅より路線バス運行

- 上信越自動車道「碓氷・軽井沢IC」より12km 軽井沢バイパス
18号「鳥井原」交差点(歩道橋)より杉爪方面へ1.5km

- 駐車場 35台収容



☆ カフェテラス Cafe Le Vent、ミュージアムショップ Le Vent は常時ご利用いただけます。

割引券

このチラシ持参の方は4名様まで100円割引させていただきます。